大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成２９年度　学校通信

平成２９年４月２１日

No.３

自転車点検及び交通安全指導

本校入学に伴って、通学路の変更及び自転車通学となる１年生の自転車点検及び交通安全指導を、本校周辺道路により行いました。

慣れない通学路や毎日の自転車の使用には、十分に気を付けてほしいと思っております。

なお、本校では、安全対策としてのヘルメットの着用を約束しております。また、自転車事故に係る保障問題等も起きていることから任意の保険加入を勧めておりますので、保護者の皆様にはご検討くださるようご案内申し上げます。

5分間走スタート

今年度も全校で５分間走に取り組みます。

本校は、統合によりスクールバス通学となる生徒が冬季は全校生徒の約半数となります。こうした現状から生徒の基礎体力の維持向上は、本校の課題の一つであり、西仙北小学校でもほぼ同様と考えます。

５分間走は、心肺機能等の基礎体力の向上、物事に継続して粘り強く取り組む態度の育成、全校生徒が互いに切磋琢磨する心と態度の育成等をねらいに、開校以来続けている実践です。ほぼ毎日、清掃後に体育館で全校生徒が走ります。その成果は、田沢湖駅伝大会や校内マラソン・駅伝大会等でも示されております。

「継続は力なり」「ちりも積もれば山となる」心も体もたくましく育ってほしい本校生徒です。

HUBオープン　火･木の放課後中核に！

昨年度、オープンした駅前通りの「ＨＵＢスペース」ですが、今年度は、火・木曜日を中核にして、活動していきたいと思っております。

生活文化部の３年生５名を中心に、町の方々との語らいや町の先生を招聘しての各種の教室、また趣味の時間等を展開できればと思っております。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。平日は、生徒は、１６:３０から１８：００くらいまでの活動になる予定です。

また、ＨＵＢスペース活用のアイディア等がありましたならば、お知らせくださるようお願いいたします。写真は、オープンに備えて、清掃中の３年生です。

生徒会企画　定例全校朝集会

生徒会活動の充実が学校の活性化につながりますが、本校では毎週水曜日の朝に、生徒会執行部が企画・運営する全校朝集会を継続しております。

毎週テーマを決め、そのことについて、各学級や学年の代表生徒が自分の考え等を発表します。そして、発表を聞いた生徒が感想等を述べる集会です。人の話を聞き、自分の考え等をもつことは、日頃の学習はもちろんのこと、大人なって社会で生活する上で必須の力です。いわゆるコミュニケーション能力育成の立場からも大事な活動と思っております。

何よりも、友達の考えや意見を聞き、自分たちの学校の在り方を考える大切な朝集会です。友達の意外な面も発見でき、楽しい集会でもあります。

今回のテーマの一つは、学級委員長の抱負でした。２・３年生の委員長は学級を明るくまとまりのある学級にしたい、また、

自分で決断することが多くなるので一人一人が自立した上での学級づくり等をしたいなどと述べると、１年生の二人は、初めての経験なので、みんなの考えをよく聞いて務めたいという謙虚なコメントでした。

今年からは、この後の感想発表をインタビュー形式に変え、発表を踏まえた上で、どんな学級にしたいですか、という質問による感想発表を求めていました。ドキドキしながらも、自分の考えをまとめる姿が、ねらいに迫る集会です。

PTA授業参観及び総会・学年部会

19日、平成29年度最初のＰＴＡ授業参観及び総会並びに学年部会が行われました。

１年生は初めての中学校での授業参観ということでたくさんの保護者の方が来校してくれました。１年Ａ組は体育科で親子でバドミントンを楽しみ、Ｂ組は、西仙北地区にゆかりのある「農聖　石川理紀之助」を資料に道徳の時間を参観してもらいました。

２年Ａ組は、社会科で江戸時代の秘密を探り、Ｂ組は、理科で物質の分解についての学習を参観してもらいました。３年生は、どちらの学級も、３年生としてやるべきことは何かを考える時間を見ていただきました。

総会及び学年部会では、昨年度の事業や活動報告、会計決算が承認されるとともに、今年度の事業や活動計画等が審議・確認されました。また、新役員の選考が行われ、次の方々が今年度の役員を引き受けてくださいました。今年１年よろしくお願いいたします。

ＰＴＡ会　長　後藤　康文（１・３年保護者）
副会長　寺山　　徹（３年保護者）
副会長　池田　裕毅（２年保護者）
副会長　佐々木和則（１年保護者）
副会長　小笠原　晃（校長）
１年学年部長　小笠原　健
２年学年部長　田村　政広
３年学年部長　佐々木　訓

なお、具体的な事業予定日や各専門部長等は５月９日のＰＴＡ評議員会で決定しますので、ご協力をお願いいたします。

今年度初の視察はタイ王国から！

20日、今年度初の研修視察として、タイ王国文部省バンコク第２区日本語センター長　ウィ-ダ-ラット・ナウイチャ-先生（通称アップル先生）をお迎えしました。

アップル先生は、地元の佐々木興業の社長で、ベラルーシの名誉領事にも任命されている佐々木正光さんの案内で、本校と西仙北小学校を訪問し、授業参観をされました。佐々木さんは、西仙北高校の同窓会長も務められており、ここ数年、タイ王国の高校の留学生を西仙北高校に紹介している方でもあります。県教育委員会でもタイ王国との教育交流が行われているようですが、本校への視察は、佐々木さんの地元の学校という案内でした。

当日は全学級の授業（国語、数学、社会、理科、美術）を参観していただきました。２年生のクラスでは、池田さんが調べてくれたタイ語の挨拶をみんなでしてくれました。気付きと自主性に敬意を表します。

同行者は、大曲南ロータリークラブ会長　橘百合子先生、市教育委員会伊藤雅己教育指導部長、佐々木正光さんでした。

アップル先生は、東京外国語大学等に留学経験のある方で日本語が堪能でした。日本への訪問は、25回目ですが、秋田は初めてだそうです。タイ王国の学校では、日本語と英語を教えている教員です。本校については、子どもたちがかわいいと話しながら、「ひまわり開花」のムービーや校内の掲示物等にたいへん興味を示していました。また、３年生の授業における生徒の発表を聞いて、「このクラスはレベルの高いクラスですか。」、という質問が教頭先生にありました。教頭先生は、「習熟度別等ではない、普通の学級編制です。」と答えております。